

## 「中国電力環境行動計画」の見直しについて

当社は、このたび、脱温暖化社会および循環型社会の構築に向けて、環境問題への取り組みをより一層推進していくため、全社の環境問題への取り組みの基本方針、環境行動指針ならびに環境管理目標を定めた「中国電力環境行動計画」を見直しました。

新計画では、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)や廃棄物の排出抑制など、これまでの環境負荷低減に向けた取り組みを更に充実させていくことに加え、社員一人ひとりが環境教育や環境保全活動を進んで行うとともに、学校などにおける「環境・エネルギー教育」を積極的に支援していくこととし、これに関する目標も新たに設定しています。

なお、今回の見直しは、2010年度を目標年次とする環境管理目標の着実な達成を図るため、3ヶ年毎に設定する中期環境管理目標（今回設定年次：2008年度）の更新時期にあわせて実施したもので、平成5年に策定して以降、5回目の見直しとなります。

当社は、環境問題への取り組みを企業の社会的責任（CSR）における重要な要素と位置付けており、引き続き、本計画に基づいた「環境経営」を推進し、環境負荷の低減に努めてまいります。

### 【主な見直し点】

#### 1. 環境行動指針について

昨年度から実施している第三者機関の評価を受ける「環境経営格付」（環境経営格付機構：東京都港区、木俣信行理事長）の結果や社内における取り組み課題などを反映して、「環境マネジメントの推進」、「地球環境問題への対応」、「地域環境への対応」および「省エネルギーの推進」に関する項目を追加することとし、従来の17項目から24項目としました。

#### 2. 環境管理目標について

循環型社会の形成に向けた3R対策の推進や「環境保全活動・環境教育推進法」の施行等を踏まえて、「環境・エネルギー教育支援活動の実施」等の項目を追加し、目標項目を従来の15項目から21項目としました。

また、「石炭灰」、「建設廃材等」の有効利用に関する目標について、より高い数値目標に変更し、内容を充実しました。

以上

### <添付資料>

別紙1：今回の見直しの特徴について

別紙2：「中国電力環境行動計画」

## 「中国電力環境行動計画」の見直しの特徴について

## 【環境行動指針の充実】

従来からの取り組みに加え、次の取り組みを一層推進していきます。

- 環境法令・環境保全協定の遵守はもとより、国際的なルールや業界団体の行動規範などを踏まえ、適正かつ的確に環境問題に取り組み、一層のコンプライアンスの徹底を図っていきます。
- エネルギー使用量や環境への負荷量の把握を充実させることで、資源の有効利用の促進などに役立てるとともに、環境会計などを活用し、一層の環境効率性の向上に努めていきます。
- 脱温暖化社会の構築に向け、原子力発電の推進、火力発電所のLNG転換などの設備対策に加え、京都メカニズムを活用した国際的な取り組みなど、地球規模での温暖化対策についても積極的に推進し、CO<sub>2</sub>削減自主目標の達成に向けて最大限努力していきます。
- 化学物質の適正な管理による土壌・地下水汚染の防止に努めるとともに、PCB廃棄物の無害化の推進に向けて、処理の安全性に対する理解を得つつ、積極的に取り組んでいきます。
- IT技術を積極的に活用した業務システムの改善などによる省エネルギーの推進、物流の効率化などによる輸送に伴う環境負荷の低減に努めていきます。

## 【環境管理目標の充実】

- 当社自らが環境保全活動及び環境教育を進んで行うとともに、学校などにおける「環境・エネルギー教育」（出前授業）を積極的に支援していくため、新たに以下の目標を設定しました。

環境行動指針の柱	項目	2010年度目標
環境マネジメントの推進	全社員への環境教育の実施	100%
	全社員による環境保全活動の実施	100%
環境コミュニケーションの推進	環境・エネルギー教育支援活動の実施	200回/年以上

- 循環型社会の構築に向け、廃棄物の3R対策やグリーン購入などの取り組みを更に推進していくため、新たに以下の目標を設定しました。

「産業廃棄物の総合有効利用率の向上」については、従来から設定している「石炭灰」、「脱硫石膏」、「建設廃材等」の個別廃棄物の有効利用に関する目標に加えて設定したもので、一層の廃棄物処分量の削減を目指すこととしています。

環境行動指針の柱	項目	2010年度目標
循環型社会形成への対応	産業廃棄物の総合有効利用率の向上	90%以上
	使用済みパソコンの有効利用率の向上	100%
	事務用品類のグリーン購入比率の向上	90%以上

- 従来から設定する「石炭灰」、「建設廃材等」の有効利用に関する目標について、より高い数値目標に変更しました。

環境行動指針の柱	項目	2010年度目標	
		変更後	変更前
循環型社会形成への対応	石炭灰有効利用率の向上	90%以上	75%以上
	建設廃材等の有効利用率の向上	90%以上	75%以上



(注) ■ 部分は主な見直し箇所

# 中国電力環境行動計画

平成 1 7 年 1 1 月

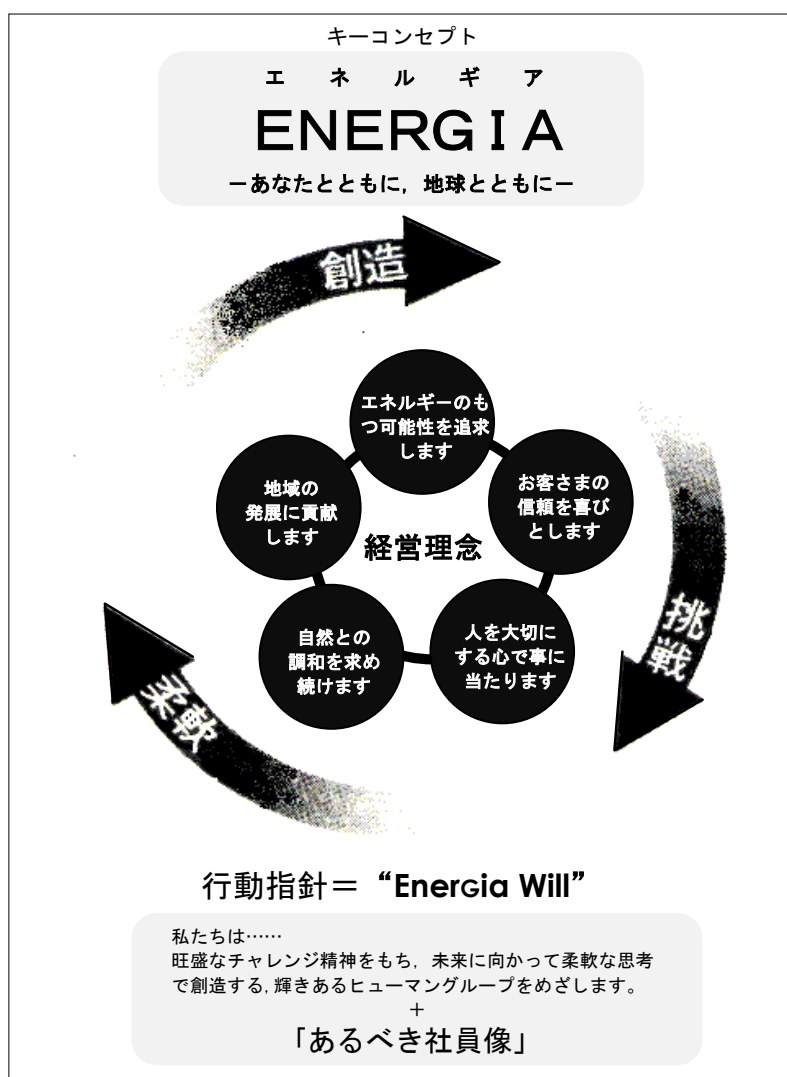
中国電力株式会社

当社は、平成3年1月に新たな企業理念を制定し、キーコンセプトを **ENERGIA**（あなたとともに、地球とともに）とするとともに、経営理念として5項目を掲げ、あらゆる行動の原点としています。

また、平成17年4月にはCSRの取り組みを一層推進していくため、「CSRの取り組みにあたって—CSR実践行動計画—」を策定し、「社会から信頼され、選択される企業」となることを目指して、全社一丸となり取り組みを推進しているところです。

環境問題への取り組みは、CSRにおける重要な要素であることを踏まえ、企業理念、CSR実践行動計画などに基づき、環境基本方針、環境行動指針ならびに環境管理目標を定めます。

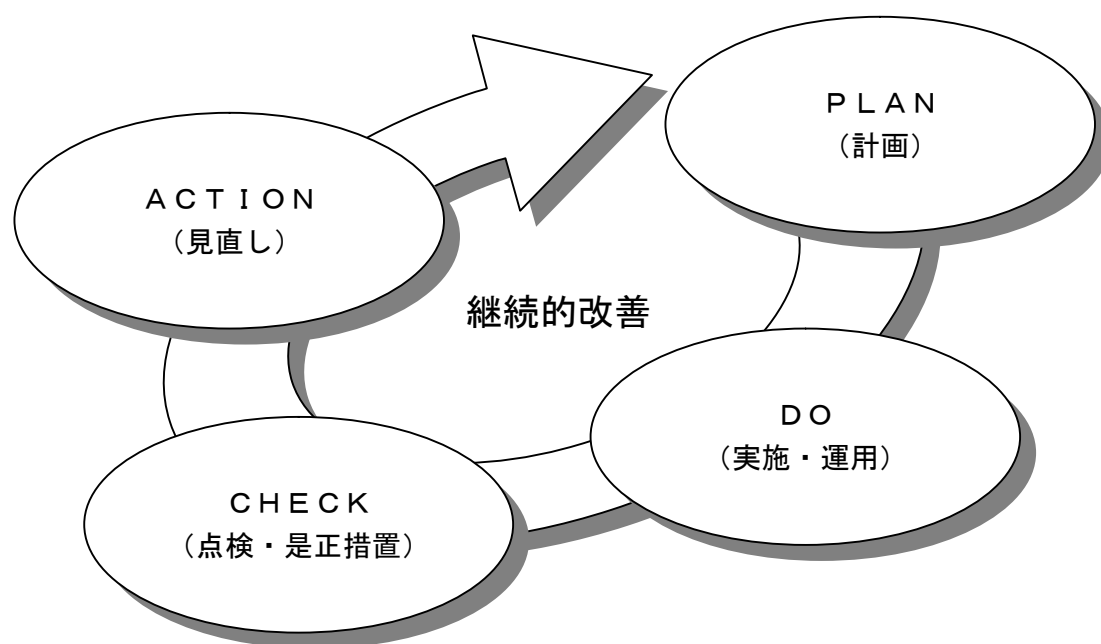
今回の見直しにおいては、これまでの環境負荷の低減に向けた取り組みの充実に加え、「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」の制定を踏まえ、自らが環境保全活動及び環境教育を進んで行うとともに、学校などにおける「環境・エネルギー教育」を積極的に支援していくための目標を新たに設定しています。



## 《環境基本方針》

中国電力は、

- ・総合エネルギー産業として、環境保全・経済成長・エネルギーセキュリティの同時達成による持続的発展が可能な社会の実現を目指します。
- ・環境マネジメントシステムを着実に展開し、事業活動に伴う様々な環境負荷の継続的な低減を図るとともに、環境を大切にしている心を持って一層の環境経営の向上に努めます。
- ・お客さまをはじめ、多くの方々との環境コミュニケーションを積極的に推進し、社会から信頼され、選択され続ける企業を目指します。



# 《環境行動指針》

## 1. 環境マネジメントの推進

- (1) 環境マネジメントシステムを継続的に改善し、日常管理の徹底、緊急時に備えた万全の準備などにより環境リスクに的確に対応するとともに、多様化し複雑化する環境問題に積極的に取り組む。
- (2) 社員一人ひとりが、環境を大切にする心を持って、職場・日常生活において環境に配慮した取り組みを実践していくよう、研修・教育を実施する。
- (3) 環境法令・環境保全協定の遵守はもとより、国際的なルールや業界団体の行動規範などを踏まえ、適正かつ的確に環境問題に取り組む。
- (4) エネルギー使用量や環境への負荷量の把握を行い、化石燃料をはじめとする資源の有効利用の促進、事業活動に伴う環境負荷の低減に役立てるとともに、環境会計などを活用し、環境効率性の向上に努める。
- (5) 中国電力グループの連携はもとより、取引先企業などとも協調し、総合力を発揮して、環境問題への取り組みを推進する。

## 2. 地球環境問題への対応

- (1) 地球温暖化対策の柱となる原子力発電所について、安全運転の継続に努めるとともに、安全性や放射性廃棄物の処理などについて理解を得つつ、新規開発を積極的に推進する。
- (2) LNGの利用拡大や水力の有効利用を推進するとともに、発電および送配電設備の効率的かつ適正な運用を図り、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）、六フッ化硫黄（SF<sub>6</sub>）などの排出抑制に努める。
- (3) 新エネルギーの利用拡大に努めるとともに、「中国グリーン電力基金」への支援などを通じて普及促進に貢献する。
- (4) 京都メカニズムを活用した国際的な取り組みなど、地球規模での温暖化対策を推進する。
- (5) 規制対象フロンなどの排出抑制によるオゾン層の保護に努める。

## 3. 地域環境への対応

- (1) 電力設備などの設置にあたっては、最新の知見を取り入れた環境アセスメントを実施し、生物多様性の確保や環境負荷の低減に努めるとともに、景観との調和に配慮する。
- (2) 電力設備などの運用にあたっては、大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭の防止に努める。
- (3) 事業活動で使用するあらゆる化学物質の適正な管理を行い、漏洩などによる土壌・地下水汚染の防止に努める。
- (4) PCB廃棄物の無害化の推進に向けて、処理の安全性について理解を得つつ、積極的に取り組む。

## 4. 省エネルギーの推進

- (1) 省エネルギー・負荷平準化機器などの普及促進，電気の上手な使い方についての情報提供に努め，お客さまとともにエネルギーの効率的利用を推進する。
- (2) 環境に配慮したオフィス活動の推進や省エネルギー機器の採用など，各事業所の実態に合った省エネルギー・省資源活動を実践する。
- (3) IT技術の積極的な活用による業務システムの改善などにより，ペーパーレス化や省エネルギーの推進に努める。
- (4) 物流の効率化やエコ・ドライブ運動などを推進し，輸送に伴う環境負荷の低減に努める。

## 5. 循環型社会形成への対応

- (1) ゼロエミッションの達成に向け，廃棄物の発生抑制（リデュース）を第一に，再使用（リユース），再生利用（リサイクル）の3R対策を推進する。
- (2) 製品やサービスの調達にあたっては，環境への負荷ができるだけ少ないものを選択して購入する「グリーン購入」を推進する。

## 6. 先進技術の開発・導入

- (1) 地球温暖化防止や循環型社会の形成，エネルギーの効率的利用に資する先進的な技術・製品の開発・導入に努める。

## 7. 環境コミュニケーションの推進

- (1) 環境問題への取り組みについて積極的な情報開示に努めるとともに，お客さまなどへの広聴活動を推進し，双方向のコミュニケーションを図る。
- (2) 学校などにおける環境・エネルギーに関する教育を積極的に支援するとともに，地域と協調した環境保全活動を推進し，社会とのパートナーシップを深める。
- (3) 開発途上国などへの技術協力ならびに海外電力事業者との国際交流，情報交換に努める。

## 《環境管理目標》

環境行動指針	項目	目標値	
		2008年度中期目標	2010年度目標
環境マネジメントの推進	全社員への環境教育の実施	100%	100%
	全社員による環境保全活動の実施	100%	100%
地球環境問題への対応	CO <sub>2</sub> 排出原単位の低減（使用端）	2010年度目標の達成に向け努力	20%程度低減（1990年度比）
	SF <sub>6</sub> 排出量の低減（回収率）※	点検時：97%程度 廃棄時：99%程度	点検時：97%程度 廃棄時：99%程度
	原子力発電所設備利用率の向上	安全性・信頼性の確保を前提に極力向上	85%以上
	火力発電所熱効率の向上（発電端）※	40%以上	40%以上
	新エネルギー等電気の利用	RPS法の義務量の達成	RPS法の義務量の達成
地域環境への対応	SO <sub>x</sub> 排出原単位の抑制（火力電源平均）※	0.2g/kWh程度	0.2g/kWh程度
	NO <sub>x</sub> 排出原単位の抑制（火力電源平均）※	0.3g/kWh程度	0.3g/kWh程度
省エネルギーの推進	オフィスでの電気使用量の節約 ※	10%節約（2001年度比）	10%節約（2001年度比）
	オフィスでの水使用量の節約 ※	10%節約（2001年度比）	10%節約（2001年度比）
	事務用紙使用量の節約	8%節約（2001年度比）	10%節約（2001年度比）
	自動車燃料使用量の節約（燃費の向上）※	3%向上（2001年度比）	3%向上（2001年度比）
	低公害車の導入	65%以上（特殊車両を除く車両に占める割合）	90%以上（特殊車両を除く車両に占める割合）
循環型社会形成への対応	産業廃棄物の総合有効利用率の向上 ※	90%以上	90%以上
	石炭灰有効利用率の向上 ※	90%以上	90%以上
	脱硫石膏有効利用率の向上 ※	100%	100%
	建設廃材等の有効利用率の向上	85%以上	90%以上
	使用済みパソコンの有効利用率の向上 ※	100%	100%
	事務用品類のグリーン購入比率の向上	85%以上	90%以上
環境コミュニケーションの推進	環境・エネルギー教育支援活動の実施 ※	200回/年以上	200回/年以上

（注）※印の項目は、継続的に目標レベルを維持していくことを目指すもの。

## －環境管理の推進体制－

### ●環境管理の責任者

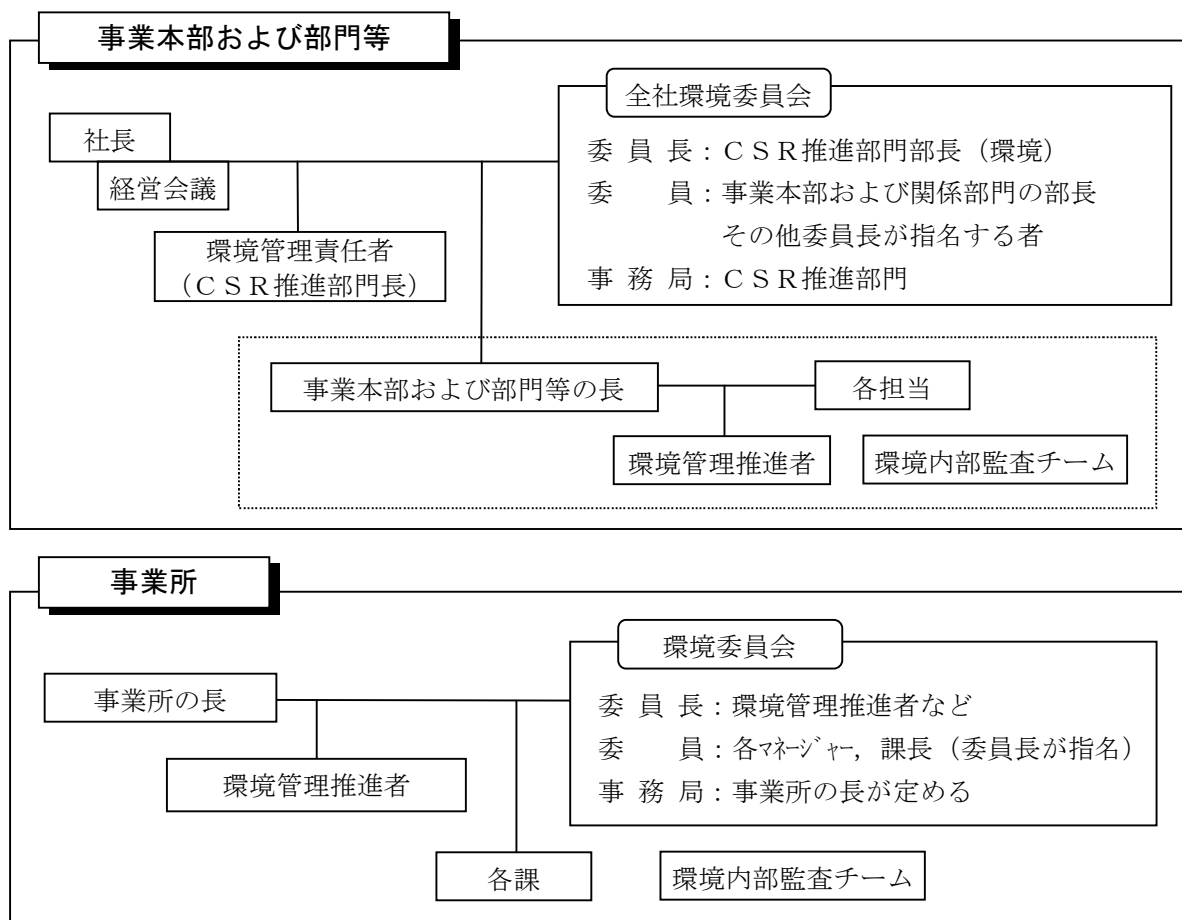
- (1) 社長は、全社の環境管理の最高責任者として、全社の環境管理を統括する。
- (2) 社長の下に環境管理責任者をおき、CSR推進部門長をもってこれにあてる。環境管理責任者は、全社の環境管理について社長を補佐する。
- (3) 事業本部および部門等の長は、関係する事業所の長と連携し環境管理を行う。
- (4) 事業本部等の長の下に環境管理推進者をおき、事業本部等の環境管理について、事業本部等の長を補佐する。

### ●全社環境委員会・環境委員会の設置

環境問題への取り組みに関する重要事項および方針について審議を行うとともに環境管理の点検・見直しを行うため、全社環境委員会および環境委員会をおく。

### ●環境監査

事業本部等の長は、環境内部監査チームを設置し、環境管理について定期的に監査を行う。





H17.11 : 改 定  
H14.11 : 改 定  
H12.9 : 改 定  
H10.11 : 改 定  
H 7.6 : 改 定  
H 5.1 : 発 行